

一般質問

住民税など市民負担増の中止と軽減措置について

角田 喜和 議員

質問 定率減税の廃止で住民税が大幅に上がった。これは自民党・公明党が減税額を06年に半減させ、07年に全廃を決めたために負担増になった。市民からは生活が大変、何とかして欲しいという声がある。軽減制度を市民に周知する必要があると思うが見解を。

答弁 今回の税源移譲で所得税と住民税の税率は変わりましたが、個々の税負担額は変わっておりません。軽減措置は市条例の軽減規定に基づいて対応します。
後期高齢者医療について
質問 来年4月から75歳以上の高齢者を対象に月平均6200円、年間約7万4

000円の保険料負担を求める「後期高齢者医療制度」が始まる。滞納すると保険証が取り上げられ、短期保険証の発行など多くの問題を含んでいる。市の見解は。
答弁 現役世代と高齢世代との間の給付と負担の公平、運営責任の明確化を図るための制度創設で、保険料は所得に応じた軽減制度が設けられ、納付が困難な者には納付相談に応じます。
地場産業の育成と販路拡大施策などについて

質問 合併前の赤城村では地域活性化事業計画書を作った地場産業の育成の方向が出されている。市における地場産業の状況をどう認識しているか。また、市は地場産業育成という観点から全体としての育成をどう考えているのか。
答弁 地域の特色や交通便利性を活かし、効率的流通を促し、観光資源としての活用や異業種交流など、関係機関等と協調し、地場産業の振興に努めます。



にぎわう赤城農産物直売所（第2直売所）

埋蔵文化財センター整備事業

南雲 鋭一 議員

質問 合併新規事業に埋蔵文化財センター整備事業を掲げている。どのような施設を考えているか具体的な方針を伺いたい。

答弁 出土品は各地区に分散し、民具や公文書を保管と公開できる研究施設を考

えらっており、現在検討中です。
質問 発掘した遺物はどの

くらいあり、保管はどのようなになっているか。
答弁 約1万箱あり、プラスチック製のコンテナボックスにビニール袋入りの土器

破片を詰め、重ねています。
質問 北橋総合支所に文化財保護課が置かれている。センター建設に旧北橋村役

場跡地はいかがか。

質問 センター建設は合併前に「合併ガイドマップ」を

全世帯に配布した。今後必要に応じ発行を検討します。
質問 住民の声「ばらばら」

にはどのような投書があったか。また、市民会議などの取り組みはどうであったか。
答弁 行政全般にわたり213件の投書がありました。各地で市長と市民との対話集会などを実施しました。

質問 洪川市表彰条例は制定された。名誉市民条例などは討議されたか。
答弁 名誉市民条例はふさわしい人が現れたときに、市民意識や社会経済情勢を踏まえて検討します。

国指定重要文化財「道訓前遺跡出土品」の一部



国指定重要文化財「道訓前遺跡出土品」の一部